

2006年プロダクションカー世界ラリー選手権・開幕戦

伝統のラリーで“Red in Black”のADVANカラー車両が優勝

横浜ゴム（株）（社長：南雲忠信）のADVANレーシングタイヤを装着した奴田原文雄選手の三菱ランサーエボリューションIXが1月20日（金）から22日（日）、モナコで開催された2006年プロダクションカー世界ラリー選手権の開幕戦「ラリーモンテカルロ」において見事優勝を果たした。

優勝したのは、横浜ゴムのレーシングタイヤを象徴する“Red in Black”のADVANカラーを纏った三菱ランサーエボリューションIX。世界ラリー選手権（WRC）に組み込まれているプロダクションカー世界ラリー選手権（P-WRC）の開幕戦で、ADVANカラー車両が優勝したことはADVANタイヤの優れた走行性能と存在感を世界中にアピールする結果となった。

今回、開催された「ラリーモンテカルロ」は、1911年にスタートした世界的に格式の高いモータースポーツイベントで、モナコをベースとしてフランスと接するアルプス山麓で行われる。季節的にドライ、ウェット、スノー、シャーベットやアイスバーンなどが混在する難コースとして知られており、路面コンディションの見極めとタイヤの性能が勝敗を大きく左右する。

今回、横浜ゴムは超低温用、低温用、中温用の3種類のコンパウンドを使用したドライ用タイヤ「ADVAN A006T」と、スノータイヤ2種類の計5種類を用意。初日、2日目とトップをキープした奴田原選手が最終日に使用したタイヤは、ドライ路面でのアドバンテージを重視し、ドライ用「ADVAN A006T」にスタッドを打ち込んだもの。この判断と「ADVAN A006T」の優れた走行性能により、2位以下を大きく引き離し、最後は独走状態でフィニッシュを迎えた。

プロダクションカー世界ラリー選手権は年8回開催されるシリーズ戦。世界ラリー選手権に参戦する車両に比べ改造範囲の制限が厳しく、限りなく市販車に近いマシンで競われる。2006年、ADVANカラーを纏った奴田原選手のランサーエボリューションは、このプロダクションカー世界ラリー選手権と、日本最高峰のラリー選手権である全日本ラリー選手権の2つの選手権においてシリーズチャンピオンを狙う。なお、奴田原選手は全日本ラリー選手権において4年連続でシリーズチャンピオンを獲得している



“Red in Black”のADVANカラーを纏った
三菱ランサーエボリューションIX

このリリースに関するお問い合わせ先
横浜ゴム（株） 広報部 担当：入江 池田
TEL：03-5400-4531 FAX：03-3432-8430

ご掲載時の読者のお問い合わせ先
タイヤお客様相談室
TEL：0120-667-520（フリーダイヤル）

横浜ゴム株式会社 広報部 広報・IR グループ
〒105-8685 東京都港区新橋5丁目36番11号 TEL:(03) 5400-4531 FAX:(03) 3432-8430

THE YOKOHAMA RUBBER CO., LTD. CORPORATE COMMUNICATIONS DEPT.
36-11, Shimbashi 5-chome, Minato-ku, Tokyo 105-8685, Japan Telephone: 81-3-5400-4531 Facsimile: 81-3-3432-8430